MORI MORI PRESS

モリモリプレス

November 11 2008 冬号

www.morita-kouen.net
森田としかず 検索
県政報告 埼玉県議会議員
森田としかずニュースレター 発行／森田としかず
E-mail info@morita-kouen.net

事務所開設!!! tel.048-530-6001
森田としかず事務所（通称:モリモリオフィス）
〒360-0831熊谷市久保島1003-2
fax.048-530-6002
平日 9:00～17:00(土・日・祝日はお休み)

討議資料

森田としかず 登壇!!!

埼玉県議会9月定例会にて一般質問！

埼玉県議会9月定例会が、9月24日(水)から10月10日(金)まで開かれました。昨年に続き2回目の一般質問に立ち、みどりの再生やテクノグリーンセンターの活用等について質問いたしました。以下、主なやりとりを紹介いたします！

気合いを入れて2度目の登壇!

1 県民運動としてのみどりの再生について

●今後のみどりの再生に対する取組の具体的な目標、県民の皆さんと一緒になって知事を始め県が率先してやっていこうという具体的な方策について、知事の考えは？

〈上田知事答弁要旨〉
「彩の国みどりの基金」を活用して、3千ヘクタールの森林を今後4年間でつくる計画である。県民による植樹を広めるために、率先した樹木活動について積極的に取り組みたい。

森田はこう考える！
全ての生命の源である植物と共存共栄を図るため、県が自ら汗をかき、率先して行動するべきです！県民と同じだけの数、710万本の植樹をしましょう！私もがんばります!!

2 食料安全保障について (1)県民の食料確保について

●食料の安定確保が難しくなってきているなか、今後、いかにして県民の食料を確保していくのか。

〈上田知事答弁要旨〉
食料の安定確保のためには、農地の確保と優れた担い手を育成し、食料供給能力を高めることが重要。優良農地を確保する一方、農業所得1千万を超える農業経営体の育成に力を入れている。今後とも、食料の安定確保に全力で取り組んでいきたい。

森田はこう考える！
当たり前に買えた食料が買えない時代がやってきています。農家の保護というだけでなく、私たちの命の糧を守っていく取り組みが欠かせません。地元の農業に改めて目を向け、「稼げる農業」のためにも、皆で地元の農産物を食べましょう!!

3 食料安全保障について (2)遊休農地の利活用について

●県民の食料安全保障が脅かされるような不測の事態に備え遊休農地の利活用を考えるべきではないか。

〈農林部長答弁要旨〉
300ヘクタールの遊休農地の解消を目指して対策に取り組んでおり、遊休農地のあっせん機能の強化を図っている。担い手育成とともに、やむを得ず休耕している水田はいつでも米づくりが復活できるよう、適切な保全管理を支援している。

森田はこう考える！
いざという時には食料を地元で作れるという準備をしておくことが必要です。今は何も作っていなくとも、常に草刈り等の手入れをする、また耕作をしてくれる潜在的な担い手を見つけておく、といった備えが必要だと考えます！

4 テクノグリーンセンター建設用地の活用について

●テクノグリーンセンター建設予定地の今後の方向性について、いかなる考えをもっているのか、具体的な段取り、日程を含めて伺いたい。

〈産業労働部長答弁要旨〉
建設用地は熊谷市の中心部にあり、まちづくりの観点からいかに活用するかが重要。同市の中心市街地活性化基本計画の策定状況を踏まえ、十分に協議をして、用地の活用方策を早期に決定したい。

森田はこう考える！
熊谷の一等地にぽっかりと空いた土地。暫定利用の「ひろば」ではもったいないです。計画変更が難しく、建物を建てる当てがないのなら、せめて公園のような形で一定時間憩いの場として植樹をするなど、柔軟な対応をすべきと考えます。

傍聴の皆さんと共に

全てはより良き埼玉のために!

一期生の同僚議員と

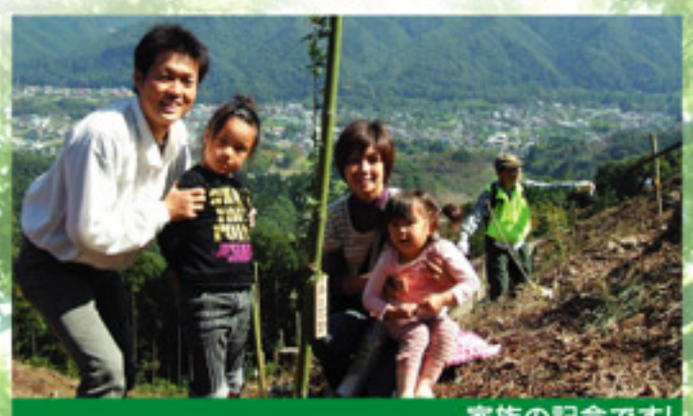
森田の森づくり Morita no Morizukuri

9/13 ふるさとの木によるふるさとの森づくり講演会

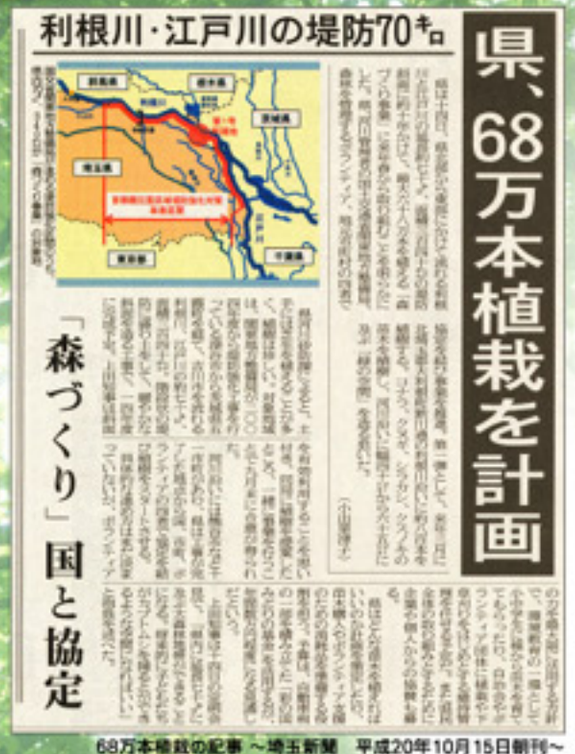
●熊高の森づくり

10月13日、長瀞町宝登山にて「熊高の森づくりの会」による記念植樹が行われました。知事にも参加していただき、八木橋会長、長瀞町長ら、熊谷高校の諸先輩と共に、植樹をしてきました。県内では、浦和高校が「浦高百年の森づくり」を行っておりまして、2校目となります!

知事へ熊高森づくりの会植樹祭ご招待!


家族の記念です!

急な斜面にも負けず…!


県、68万本植栽を計画
利根川・江戸川の堤防70キロ
「森づくり」国と協定

68万本植栽の記事 ～埼玉新聞 平成20年10月15日朝刊～

●熊谷市でも!

11月下旬には、熊谷市大麻生地区の運動公園にて、植樹を行う予定です。これに先立って、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生をお招きし、さくらめいとにて「ふるさとの木によるふるさとの森づくり講演会」が行われました。「命を育てる!」という宮脇節が響き渡り、熊谷の皆さんにも、11月に向けた気合いが入ったことと思います！

●早速68万本!

一般質問で「710万本の植樹」を取り上げて間もなくの10月14日、県は利根川流域に68万本の植樹を行う計画を発表しました！ 目指せ710万本!!